



シリーズ  
タンチョウ  
Vol. 374

鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ

石下 亜衣紗・平川 知弥  
〒085-1205 鶴居村中雪裡南 ☎64-2620/FAX64-2239

鶴居 タンチョウ 検索



## サンクチュアリ周辺のゴミ拾いを行いました

雪が溶け、新年度となり村内のあちらこちらでゴミ拾いや花壇の植え付けが行われ、町中が賑わってきました。4月26日に「鶴居村かんきょう会議」と村内の小学校3年生から中学生で構成される、つるいっ子の体験活動グループ「サルルンガード」のメンバーでサンクチュアリ周辺の自然観察を兼ねたゴミ拾いを行いました。今年小学校3年生になり、サルルンガードに新たに加わったメンバーにとっては、初の活動でした。

参加者は大人5名と心もとないところ、子どもたち13名がしっかりとフォローしてくれました。目立つゴミはもちろん、小さなゴミや半分土に埋もれてしまっているようなゴミも見逃さずに回収していききました。駐車場や道路脇だけでなく、普段は入れない給餌場の中や自然採食地にも向かいます。給餌場ではタンチョウ気分景色を眺めつつ、ゴミを探していききました。タンチョウの糞や抜け落ちた羽毛などが目につき、子ども達は見つけた羽毛を握って「ぼかぼかする！」と、そのダウンの性能を実感していました。給餌場では一つだけゴミを見つけました。タンチョウが持ってきた空き缶のかけらです。つづく音が出て面白いのか、サンクチュアリではこれまでに数回、タンチョウが空き缶で遊ぶ姿が目撃され、大事には至っていませんが、空き缶がくちばしに挟まってしまう事故も起きています。タンチョウに限らず、ゴミは生きものが誤飲し生死に関わることがありますので、ゴミ拾いは自然環境や生きものを守るためにも大事な活動です。



↑タンチョウたちはこんな景色を見ているのですね

最終的に回収したゴミの量は6袋。足元に咲く早春の花や、小鳥のさえずり、エゾアカガエルのおたまじゃくしなども見つけ、春の陽気を感じながら、体も気持ちもリフレッシュしました。

## 着任のご挨拶

はじめまして。5月より鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリにて勤務しております、平川知弥です。東京出身ですが、福岡県にある大学に進学し、アラレガコという、海で産卵し川で成長する魚の研究に取り組んでいました。卒業後はJICA海外協力隊としてアフリカのケニアへ赴任し、小学校で算数と体育を教えていました。帰国後、福岡県北九州市の環境学習施設に勤務し、公害の歴史や環境問題について来館者の皆さまへお伝えしてきました。



趣味はサイクリングや生きもの探しです。これから川沿いや湿地などを散策していることがあるかもしれません。見かけた際は、怪しい人と思わず、ぜひお気軽にお声がけいただけると嬉しいです。

どうぞよろしくお願いたします。